

2007

対馬シーカヤックマラソン大会
54艇、81名が力漕



和多都美神社をスタートするカヤック

やかな絶好のカヤック日和に恵まれた当日、選手たちはゴール目指して力強くパドルを漕いでいました。

初心者でも楽しめるシーカヤックレースは初めてという豊玉中学校2年生の日高杜都くんと山上拓磨くんは、ペアミドルコース5kmに出場。

事前に練習したのは2回程度という中、本番では1時間3分

10月13日、日本有数のリアス式海岸である浅茅湾を会場に、2007対馬シーカヤックマラソン大会が開催されました。この大会は、対馬の自然を活かした体験型の観光を旨とする取り組みのひとつとして開催され、今年で3回目。

参加者も年々増加しています。今大会には、島内外から81名の選手が会場。秋晴れの穏

のタイムで2位と健闘しました。「きつかったけど、結果には満足しています。シーカヤックの楽しさを友達に伝えたい」と話していました。このように初心者でも比較的簡単にレースを楽しめるのが、シーカヤックの魅力のひとつでもあります。

自然を満喫した韓国人参加者。今大会には韓国から3名の



選手宣誓を行う豊玉中2年の山上拓磨くん(左)と日高杜都くん。レースではペア5kmで2位と健闘

選手が出場。シングルフルマラソン20kmで11位(3時間4分)の成績を収めたハ・ズンスさん(53)は「レースには初めて参加しましたが、自然を満喫しながら楽しく漕げました。来年は地元のカヤック・クラブの仲間たちをたくさん連れてきます」と対馬が大変気に入った様子でした。また、レース後には交流会が行われ、マグロの解体ショーなど楽しいイベントで盛り上がりました。



レースを楽しむ選手達

グランドチャンピオンに

やすよし 国分八洲悦さん(上対馬)の「ひめの」が輝く

～第21回対馬和牛共進会～



国分八洲悦さんとグランドチャンピオンを獲得した「ひめの」

島内で飼育されている優秀なあか牛を集め、2年に1度優劣を競う対馬和牛共進会が10月10日、豊玉町和板で開催されました。

生産者の飼育レベルの向上を目指して開かれているもので、今大会には各町の予選会を勝ち抜いた22頭が出場。年齢や出産経験の有無などで分けられた4つの部門ごとに、体型や発育状況、健康状態などが審査され順位が決められました。

この中で部門を超えて最も優秀な牛に贈られるグランド

チャンピオンには「経産牛の部」で優勝した上対馬町茂木の国分八洲悦さん(55)が育てた「ひめの」が輝きました。国分さんは初出場だった前回大会で準グランドチャンピオンを獲得しており、今回の受賞に「感無量です。今後もがんばっていきたい」と喜びを隠し切れない様子でした。

現在、市内には約340頭の繁殖用の牛が飼育されており、農家戸数は減っていますが(現在約90戸)、飼育頭数は少しずつ増えているそうです。

ペタンクで楽しく交流

第4回 ペタンク交流対馬大会

10月3日、豊玉町総合運動公園で(財)長崎県すこやか長寿財団、対馬市社会福祉協議会、対馬市老人クラブ連合会の主催によるペタンク交流対馬大会が開催されました。

気軽にできる高齢者向けスポーツとしての「ペタンク」の普及と高齢者の地域間交流の促進を目的に開催されたもので、大会には島内各地から老人クラブの会員135名が参加。34チームに分かれて得点を競いました。

ペタンクは、2チームに分かれ重さ約700~800gの金属製のボールを標的へ向けて投げ、得点を競うカーリングに似たゲームです。

参加者はさわやかな秋晴れのもと、競技を楽しんでいました。



【大会結果】 千尋藻(豊玉) 若衆会(峰)
嵯峨(豊玉)、くらしき(豊玉)

美津島町で
高齢者ふれあいスポーツ大会



対馬市社会福祉協議会主催の高齢者ふれあいスポーツ大会が、10月19日、美津島町雞知のグリーンピアつしまで開催されました。

大会には、美津島町内に住む60歳以上の方々が参加。ゲートボールの部15チーム、パークゴルフの部23チームで熱戦が繰り広げられました。

競技中はお互いの珍プレイ・好プレイに拍手や笑いが起きるなど、終始和やかな大会となりました。結果は次のとおりです。

【大会結果】
ゲートボール 緒方 久須保 竹敷
パークゴルフ 鶏鳴第1A 樽ヶ浜 鶏鳴第1B

10月10日、仁田小学校校運動場で上県町小学校体育大会が開催され、町内4校の児童が一生懸命に競技に取り組んでいました。
大会では3つの競技で新記録が生まれました。
【競技結果】
大会新のみ掲載(敬称略)
【男子】
《100m》 3年〃白石翔樹(仁田) 16秒8 《400mリレー》 仁田A 1分3秒9
【女子】
《ソフトボール投げ》
5年〃平山由梨佳(佐護) 41m 97



3つの新記録が誕生
上県町小体連

10月12日、厳原町総合運動公園陸上競技場で第11回厳原町小学校体育大会が開催され、6つの新記録が誕生しました。
【競技結果】
大会新のみ掲載(敬称略)
【男子】 《100m》 4年〃長瀬智彦(久田) 15秒0 《400mリレー》 4年〃久田2班 1分3秒3 《走り幅跳び》 4年〃春田蒼(厳原) 3m77 《ソフトボール投げ》 6年〃大石尚緩(厳原) 56m 39
【女子】 《800m》 6年〃桐谷由紀(厳原) 2分38秒 8 《400mリレー》 6年〃厳原1班 1分0秒4



6つの新記録が誕生
厳原町小体連

大会成績

男子 20km

雞 知	1時間7分54秒
豊 玉	1時間8分40秒
巖 原	1時間9分15秒
比田勝	1時間9分52秒
久 田	1時間10分44秒
西 部	1時間10分52秒

《区間賞》

1区(4km)	土肥啓人(久原)	13分02秒
2区(3km)	神田貴仁(比田勝)	9分55秒
3区(3km)	小宮慶祐(雞知)	10分05秒
4区(3km)	田中亮太(巖原)	10分18秒
5区(3km)	串崎裕亮(巖原)	10分15秒
6区(4km)	飯野幸太(豊玉)	13分46秒

女子 12km

雞 知	44分23秒
比田勝	44分58秒
巖 原	45分30秒
豊 玉	45分56秒
仁 田	46分26秒
東 部	47分35秒

《区間賞》

1区(3km)	八坂瑞翔(雞知)	10分49秒
2区(2km)	山崎 唯(比田勝)	7分05秒
3区(2km)	鳥羽架奈子(雞知)	7分23秒
4区(2km)	川上綾香(雞知)	7分27秒
5区(3km)	木村真子(比田勝)	11分10秒

雞知中が3年連続アベック優勝！

対馬市中学校駅伝競技大会



男子1区 スタート直後の様子

10月5日、平成19年度対馬市中学校体育大会駅伝競技大会が、峰町運動公園陸上競技場から狩尾方面折返しコースで開催され、市内の全19校が出場。男子6区間20km、女子5区間12kmのコースで、熱戦が繰り広げられました。男子の部では、1区こそ同タイムながらわずかの差でトップを久原中に譲

ったものの、雞知中が2区以降独走し、そのまま先頭でゴール。女子の部では、同じく雞知中が1区から最終区まですべてトップを守る完璧なレース運びで優勝。雞知中は3年連続となる男女アベック優勝の快挙を成し遂げました。また、昨年度の記録と比較して最も記録を短縮したチームに贈られる躍進賞は、男子が豊中学校、女子が佐須中学校でした。

なお、男女上位2チームは、11月8日に諫早市で開催される県大会に、対馬代表として出場しました。



トップでゴールする雞知中女子チーム

巖原中剣道部が準優勝

西九州親善少年剣道松浦大会



10月7日、松浦市文化会館で開催された第12回西九州親善少年剣道松浦大会で、中学女子団体の部に出場した巖原中学校剣道部が昨年に続き準優勝に輝きました。

同種目には、長崎・佐賀の両県から各地区を代表する強豪26チームが参加。同部は、田平武道館、伊万里中学校、夏の九州大会長崎県代表校の生月中学校を次々と破り2年連続で決勝戦に進出しましたが、国見中学校（伊万里）に惜しくも敗れました。

女子主将の天野真歩さん（2年）は、「来年こそは男女揃って優勝旗を持って帰ってきます」と決意を新たにしています。

対馬駐屯地司令杯少年ソフトボール大会



優勝カップを受け取る巖原少Bチーム

9月15日、美津島総合運動公園野球場を舞台に、第16回陸上自衛隊対馬駐屯地司令杯少年ソフトボール大会が開かれ、島内から12チーム、180名が参加して熱戦が繰り広げられました。

決勝戦は、4回豪雨のため両チーム9名によるジャンケンで争われ、6対3で巖原少年クラブBが優勝しました。

【成績】

巖原少年クラブB
上対馬バイオレッツ
船小ファイターズ

最優秀選手 勝見公太郎(巖原少B)
優秀選手 山岡 聖典(上対馬)
敢闘賞 松村 冬威(船小)

ゴミゼロながさき優良団体表彰を受賞

対馬市食生活改善推進協議会厳原支部

10月20日、五島市で開催された平成19年度長崎県美しいふるさと推進大会で、対馬市食生活改善推進協議会厳原支部（小嶋多鶴子会長）が、ゴミゼロながさき推進協議会より「優良団体」として表彰されました。

同支部は、マイバック利用推進活動や生ゴミリサイクルの積極的な取り組み等をはじめ、漂着ゴミについて考える日韓学生つしま会議にも協力。また平成17年度には、かるた遊びを通して地球温暖化やゴミの減量について考えてもらおうと、手作りでエコカルタを300個作成し、市内の小・中学校をはじめ、幼稚園、保育園に配布するなど子どもの環境教育へも力を注いでいます。

受賞にあたり小嶋会長は「会員の皆さんの支えに感謝しています。今後もう少しでもゴミを減らすため活動を行っていききたい」と話していました。



榊島カツ江副会長 小嶋多鶴子会長

10月18日、佐須奈中学校1年生12人が、比田勝海上保安署で職場体験学習を行いました。

生徒たちは海上保安庁の仕事についての説明を受けた後、巡視艇「はやくも」で体験航海を行い、操船やレーダーを見たり、双眼鏡を片手に見張りなどを体験しました。

「海猿」のイメージで職場体験に臨んだ小宮雄大くんは「海難救助以外にも外国船の取締りや消火活動などもすることを知って大変な職場だなと思いました」と話しました。

「はやくも」の上原正成船長は「みなさん元気があって飲み込みがはやく、時化にも強かったので、ぜひ未来の海上保安官に」と話していました。

佐須奈中学校生徒が海上保安官を体験
「将来は海上保安官に...」



林野火災に威力を発揮可搬式消防ポンプを導入
対馬市消防本部

林野火災で威力を発揮する可搬式消防ポンプ1台が、対馬市消防本部へ導入されました。これは長崎県の森林保全を目的とする事業を活用し、昨年に続いて県から借り受けたもので期間は3年間となっています。

今回導入された消防ポンプは重さが24kgと小型で運搬しやすく、消防車が進入できない林野での消火活動に威力を発揮することが期待されます。

現在、同様のポンプは消防本部及び各出張所に1台ずつ設置しています。

導入された可搬式消防ポンプの放水テストの様子

対馬市消防団は、財団法人自治総合センターが行う「ふるさと消防団活性化助成事業」の助成を受けて、AED訓練用救急人形11組の備品を購入しました。

この備品は、救急蘇生法（気道確保・人工呼吸・心臓マッサージ）の訓練に使用するためのもので、人体の上半身モデルとAED（自動体外式除細動器）トレーナーがセットになっています。

今後の救急講習会での応急手当の普及に活用され、救命率の向上が期待されます。



宝くじ助成事業で
救急用訓練人形を購入
対馬市消防団

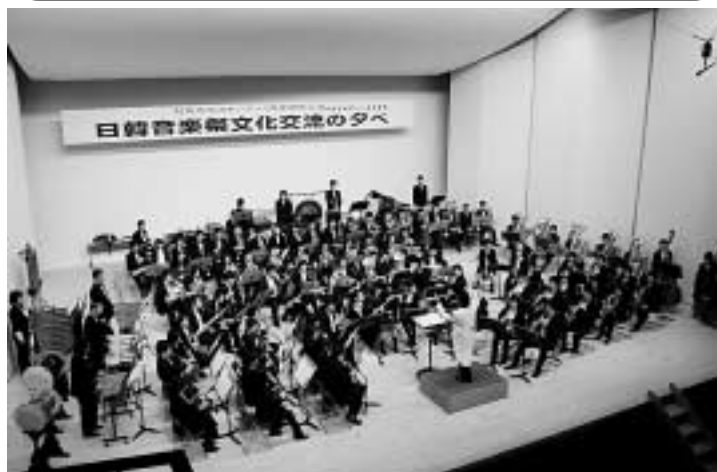
対馬市交流センター1周年記念行事として、日本・アメリカ巡回公演中の韓国ソウル市の漢陽大学ウインドオーケストラによるコンサート「日韓音楽祭文化交流の夕べ」が10月20日、対馬市交流センターで開催されました。

同オーケストラは、韓国内外で高い評価を得ている有名オーケストラで、これまでに優れた演奏者を数多く輩出しています。

舞台では64名の団員が迫力あるサウンドと豊かな表現力でクラシックの名曲を演奏し、会場の約600名の観客から盛大な拍手が送られていました。

また、第2部では対馬高校吹奏楽部が出演。単独演奏の後、オーケストラと合同で日本の「演歌メドレー」と韓国の民謡を演奏しました。

交流センター1周年を記念し 漢陽大学ウインドオーケストラが公演



漢陽大学ウインドオーケストラと合同で演奏する対馬高校吹奏楽部



仮装してチェックポイントを回る子どもたち

かぼちゃのお化けがいっぱい ～ハロウィーンスタンプラリー～

10月20日、子どもたちにハロウィーンの体験を通じて異文化に触れてもらおうと、「地域で子育てを楽しむ会」が厳原の市街地で「ハロウィーンスタンプラリー」を実施しました。

思い思いに仮装した子どもたちは、市役所や十王小路、八幡宮神社、半井桃水館、歴史民俗資料館などのチェックポイントを回って、西洋の子どもたちのお祭「ハロウィーン」を楽しんでいました。

シリーズ「人権教育総合推進地域事業」の取組 その

佐護小中学校の取組を紹介します

佐護小中学校は「人権教育総合推進地域事業」の推進協力校として、保護者や地域の方々と一緒に地域全体の人権意識を高め、子どもたちの「コミュニケーション能力」と「自尊感情」を育む取り組みを進めています。

本年度は小中合同人権学習会や参加体験学習など、小中併設校の特色を生かし小中学生が共に活動する「学びの場」を設定し、お互いを認め高め合う学校集団作りに特に力を注いでいます。

今後は地域の方々からの人権標語募集、文化発表会での集団作り、小中合同人権集会等を予定しています。

なお、研究の中間発表会を平成20年1月24日(木)に予定しています。多くの皆様の参加をお待ちしています。

また、各活動の詳細は佐護小中学校ホームページ(<http://www5.ocn.ne.jp/~sago/top.html>)で随時紹介していますので、ぜひご覧ください。



小中合同人権学習会



中学校参加体験学習



小学校人権の花活動



運動会での集団作り